

14年03月13日 11時42分 校正00
日刊工業0314本 紙金融13版
日刊工業0304B箱 組編制0043000
寄せ・国際金融市場を読む
005・0 11
07段02字027行

F& 0304BBC00045000
F& 0304XJM00305000
F& 0304XJM00306000
F& 0304XJM00309000
F& 03057B100003000
F& 03130HBA0024000

国際市場に波及

シリア、エジプト、ウクライナ、ベネズエラ、タイなどで政治不安が報じられている。地域紛争、内戦や革命、戦争によって一国の通貨価値が暴落し、金融システムが破綻し、国際金融市場にも影響を及ぼす。

最悪のシナリオは、大きな戦争で敗北し、自国通貨が価値を失うこと。かつて、太平洋戦争中に日本軍は占領地で軍票を発行した。日本が敗退すると軍票はただの紙切れとなり、占領地では物資が細り、ハイパーインフレになった。

同じことがウクライナや紛争当事国でも起こるか？。当事国がドル建て政府債で資金調達している場合、その国の通貨の

国際金融市場を読む

女性リーダー 危機に挑む



国際金融アナリスト
兼 S A I L 社長

大井 幸子 氏

価値が下落した分ドル建て国債のデフォルトを起す可能性がある。この借金が膨らみます。外資がいっせいに資本逃避し、資本流出が止まらなると、出血多量で債務不履行（デフォルト）を起す可能性が高まる。

こうした事態が起こると、世界同時株安など、危機が連鎖的に市場に波及し、思いがけない所で損失が続出。例えば、1998年のロシア危機では、ロシアが自国通貨建て

資金調達に苦悩

当時ウォール街にいた私は、実際にマージンコール（追加証拠金）がかり、あるいはマージンデット（証拠金負債）で追いつかなくなり、目も当たらなかった。金融市場で危機が連鎖するメカニズムは、信用収縮による「急激な流動性の枯渇」に起因する。恐怖心から売り急ぐとき

デフォルト回避、最後の頼み、

に、特に流動性のない資産は買値がつかず底なしに下落していく。さらに恐怖心に駆られ、流動性の高い資産が売却びせられ、パニックとなる。津波のように押し寄せてくる売却びせを止めないとシステム自体が機能しなくなり、マーケットの「サドンデス」が近づきます。銀行は預金封鎖し、マネーという血液が心筋に回らなくなる。2008年のリーマンショックのときも同様で、特にレバレッジ（借入金による投資）が大幅に高かった分、損失も膨らんだ。

支えられるか

FRBが米国の信用を最後の最後まで支えられるかどうかは、イエレン新議長に委ねられている。そして、次の金融危機に対処するのは、イエレン議長をはじめ、ラガルドIMF専務理事、そしてメルケル独首相といった女性リーダーが世界の金融を救済することになるだろう。

(金曜日掲載)